

2013年6月27日  
株式会社リンクム

## 部門間コミュニケーションを活性化し、 イノベーションを起こすための社内 SNS 活用セミナーを 2013年7月25日（木）に開催決定！

株式会社リンクム（本社：東京都台東区、代表取締役：藤原信二、以下「リンクム」）は、経営者、企画担当者、総務担当者、情報システム担当者を対象に、『イノベーションを起こす社内 SNS 活用セミナー』を2013年7月25日（木）に開催いたします。参加は無料です。

本セミナーでは、社内 SNS を活用してコミュニケーションを活性化し、イノベーションを起こすためのノウハウをお伝えいたします。

（セミナー詳細：<http://www.seminars.jp/s/87757>）

### 「イノベーションを起こす社内 SNS 活用セミナー」

日 時：2013年7月25日（木） 16:00～17:30（受付：15:45～）

場 所：ラーニングエッジ西新宿キャンパス

（東京都新宿区西新宿8-4-2 野村不動産西新宿ビル 4F）

講 師：株式会社リンクム 伊良波朝賞

お申し込み：<http://www.seminars.jp/s/87757>

イノベーションの必要性は長年注目されてきましたが、日本企業のイノベーション力は米国企業と比較して大きく遅れていると言われていました。

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社は、2013年1月に「日本企業のイノベーション実態調査」というレポートを発表しました。

このレポートの中で、日本企業の売上における新規領域（製品・サービスなど）が占める割合は米国企業と比較しておよそ半分であるとし、日本企業の状況を「イノベーションに対して積極的でない現状である」と指摘しています。このことが日本企業の成長を阻害する要因となっており、国際舞台で苦戦する大きな理由の1つとなっているのです。

それではイノベーションを起こすために必要なものは何でしょうか？

最近の研究によると、企業がイノベーションを起こすためには、部門を越えたコミュニケーションを活性化が必要不可欠であると言われてしています。

多くの日本企業はこの数十年、効率化を合言葉に部門の独立性・専門性を重視する経営を行ってきました。しかし、このことが部門間でのコミュニケーションを阻害し、社員の知識交流を停滞させる原因となったのです。これが、「イノベーション力」が低下した原因です。

日本企業が再び「イノベーション力」を取り戻すためには、組織の縦割り化を解消し、部門の壁を越えた社員間の知識交流を活性化する必要があります。

これを実現するためには、社内 SNS の要素を持ちながら、よりイノベーションに特化した機能を持つシステムが必要です。そのシステムこそが、「智泉（読み方：ちせん）」です。

「智泉」には、社内 SNS で実現できるコミュニケーションの向上だけではなく、部門の壁を越え、イノベーションを生み出すための仕組みが搭載されています。

本セミナーでは、「智泉」が持つこれらの機能を活用し、部門にこだわらないコミュニケーションを実現し、それによって生まれたアイデアをイノベーションに育てる方法をお伝えいたします。



(セミナー詳細：<http://www.seminars.jp/s/87757>)

## <リンコム概要>



- 【会社名】 株式会社リンコム <http://www.linkcom.co.jp/>
- 【所在地】 〒111-0041  
東京都台東区元浅草 4-9-14 イマス元浅草ビル 5階
- 【代表者】 藤原 信二
- 【事業内容】 企業向けイノベーション創出システム「智泉」、店舗支援システム「店番長」、企業間ウェア「リンコム ネクスト」の開発および販売。業務アプリケーションの受託開発、コンサルティング。

## <本件に関するお問い合わせ先>

株式会社リンコム マーケティング部 担当：西内（ニシウチ）  
TEL : 03-5246-6711 FAX : 03-5246-6712  
e-mail : [info@linkcom.co.jp](mailto:info@linkcom.co.jp)